平成３１年１月２８日

保護者の皆様

家庭数

西東京市立谷戸第二小学校
校　長　　小林　克彦

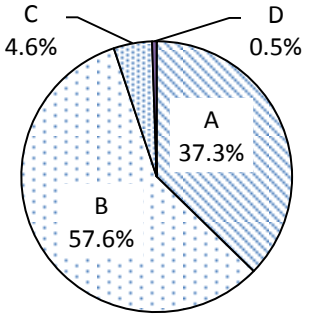
平成３０年度　後期学校評価アンケートの結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、１２月にご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。この結果は、保護者の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。なお、本校のホームページにも公開しますので、ご覧ください。

１　保護者アンケートの結果

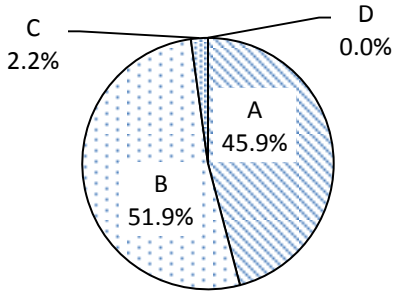
（　Ａ＝とてもそう思う　Ｂ＝そう思う　Ｃ＝あまりそう思えない　Ｄ＝そう思えない　）

１　学校は、児童のよさを見付け、認め、必要に応じて問い返し、挑戦を励ます言葉かけを行っている。



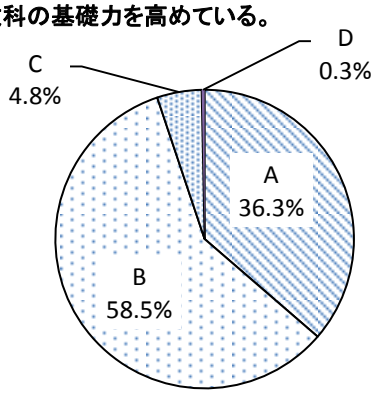
９５％にちかい方にＡ・Ｂの評価をいただきました。なお一層、児童一人一人の成長を看取り、認めていく姿勢を大切にしていきたいと思います。

２　学校は、大型テレビや書画カメラ、そして、思考ツールやミニホワイトボード、付箋紙などを活用して「見える・わかる」授業づくりを進めている。



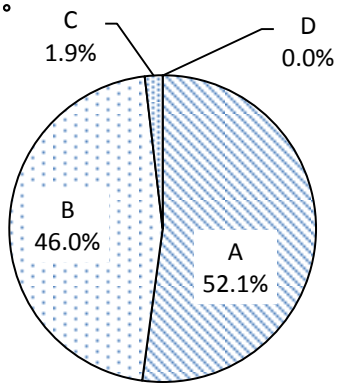
「見える・わかる」授業については、前期の高い評価よりさらにＡ・Ｂ合わせての９８％の評価をいただきました。ＩＣＴの活用をはじめ、様々な方法で授業づくりをこれからも工夫していきます。

３　学校は、算数科の習熟度別学習や、朝の東京ベーシックドリルの時間、レビュータイムを活用し、算数科の基礎力を高めている。



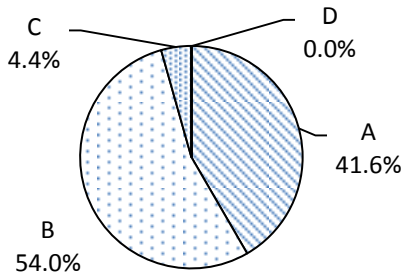
算数の学習については、Ａ・Ｂ合わせて９５％に近い肯定的な評価をいただきました。今後は、ベーシックドリルの活用から更に、学年に立ち戻っての指導に力を入れ、算数科の充実を図っていきます。

４　学校では、長縄週間等の体育的活動が毎学期、計画的に行われ、体力向上と挑戦する心を育てている。



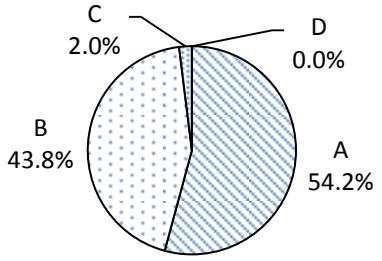
体育的活動についても、Ａ・Ｂ合わせて９８％の高い評価をいただきました。体を動かす機会の充実を図り、今後は授業も合わせて様々な手立てを講じていきたいと思います。

5 学校は、生活科と総合的な学習の時間の授業の充実を通して、課題解決のために探究し協働する態度を育成し、思考力・表現力が高まっている。



思考力・表現力の育成については、A・B合わせて９５％でした。探究と協働のある学習で培った力を色々な教科で活用し、児童の思考力・表現力を育てていきたいと思います

6. 学校は、保護者や地域の方々にボランティアやゲストティーチャーを依頼し、地域に開かれた教育活動を、保護者・地域と協働して実施している。



保護者や地域の協働については、A・B合わせて９８％の評価をいただきました。皆様のお陰です。又、今後もゲストティーチャーをたくさん依頼してより開かれた学校にしていきます。今後もボランティアなどご協力よろしくお願いします。

２　保護者アンケートの分析

今回のアンケートでは、全ての項目で「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて約９割に達するという評価をいただきました。特に４の体育的活動につきまして高い評価をいただき、毎年計画的に行っているため、児童の習慣が定着してきたものと考えます。なお、「あまりそう思えない」「そう思えない」と評価いただいたところがある部分については、謙虚に受け止め、学校運営の工夫・改善に努めてまいります。

３　児童対象アンケートの結果

評価　4 そう思う　3 だいたいそう思う　2 ややそう思う　1 そう思わない	4	3	2	1
①　先生は、よさをほめてくれたり、新しい学習に挑戦したくなるような言葉をかけていましたか。	58%	27%	12%	3%
②　道徳の授業では、「みんなの道徳」等を活用し、考えたり、話し合ったりしましたか。	69%	20%	9%	2%
③　授業の初めには「めあて」を確かめ、授業の終わりには「ふりかえり」を行うことができましたか。	69%	22%	7%	2%
④　授業では、国語で学んだことを生かし、自分で考えたり皆で考えたりすることができましたか。	60%	26%	11%	3%
⑤　授業では、テレビ画面や写真等を目で見て確かめたり、手を動かして確かめたりすることができましたか。	63%	25%	9%	3%
⑥　東京ﾍﾞｰｼｯｸﾄﾞﾘﾙでできないところを確認することができましたか。（２年以上）	50%	27%	15%	8%
⑦　生活科や総合的な学習の時間には、めあてをもって自分で考えたり、皆で考えたりしたことをまとめたり表現したりするなどの学習ができましたか。	61%	25%	12%	2%
⑧　体育の学習や長縄集会などの活動では、楽しく運動ができましたか。	72%	16%	8%	4%

４　児童アンケートの分析

８項目全てにおいて８割から９割の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。これは、学校生活の多くの場面で満足傾向にあると捉えられます。特に「めあての確認や振り返りの実施」については９０％以上の児童が「よい」と評価しており、日常から授業に取り組んでいる成果が出ているものと考えました。

一方、「東京ベーシックドリル」に関する項目については、前期と同様、約２０％の児童が「ややそうおもう」「おもわない」としています。今後は、「東京ベーシック」に限定せず、他のドリル教材も活用し、幅を広げて取り組むなど、更なる充実を図っていこうと計画していきます。

５　学校評価のまとめについて

この評価の結果を受けて、学校教職員で話し合いを深めるとともに、２月の学校関係者評価委員会にて討議していただくことになります。学校としての特色は３学期、そして来年度も充実した教育課程に反映させていきます。今後の課題と判断されるものについては、具体的な対応を進めてまいります。

６　保護者からのご意見について

（１）担任の温かい励ましの言葉で子供のやる気がアップしている。授業が分かりやすく、毎日の宿題が適量です。

（２）駐輪場の指定や、落ち葉ひろいのお礼メールなど、とても良いです。

（３）ゲストティーチャーを招いてくださることで、子どもが知識としてだけではなく、体験として貴重な学びを受けていることに感謝しています。⇒今後も引き続き、計画していきたいと思います。

（４）習熟度別のクラス分けの基準を説明してほしい。

⇒算数習熟度別学習は、全ての東京都公立小学校で実施されています。本校では３年生以上を対象としています。一人一人の習熟度に応じて、習熟度別のクラスで学習を進めています。単元の学習の前に調査（レディネステスト）を実施して当該内容に関わる習熟度を測り、クラス編成を行います。本人の希望を加味することもあります。単元の学習内容や調査結果によって、クラス編成、構成人数、指導者（各担任＋習熟度別担当）がその都度変わります。児童の実態や習熟度具合に応じて、臨機応変に対応するメリットがあるためです。（「固定化」するデメリットを回避する意味合いもあります。）尚、授業で取り組む問題や進度はどのクラスにおいても同一です。

（５）土曜の学校公開を年に何度か平日にしてほしい。

⇒来年度の計画に、学校公開のない土曜授業のみの日と、平日の学校公開を設定したいと計画中です。

（６）学校公開の時など、自転車で来られないことが不便。今まで校庭に自転車を置いても子供たちもそれなりに対応できていたので、急に禁止でなくてもいいのでは。

⇒休み時間や体育など公開中であっても児童の活動を最優先させることを第一に考えます。実際に１学期の公開中校庭の一部を駐輪場にしましたが、休み時間転がったボールを自転車の合間を走りながら取りに行く子など危険な状態、遊具を通っての体育の授業をしたくてもできない実態など様々な弊害がありました。また、安全管理のために人を配置する余裕もありません。今後もやむおえない方のため東門の駐輪場のみ開放します。引き続きご理解とご協力をお願いします。

（７）いじめについて、早く気づき、対応してほしい。

⇒年に３回の学校生活アンケート等で、早期発見に努めています。ご家庭でも気になること、心配ごとがあれば、いつでもご相談ください。

（８）ランドセルが重く、かたこりや頭痛がするとのことなので、学校におきべんができるといいです。

⇒学年で精査して集めた教科書などは、学校で保管しています。（道徳、社会科資料、地図帳等）

※　他にもご意見をいただきました。教職員一同授業改善を進め、より一層の教育活動の充実を図っていきたいと考えています。今後とも本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。